



# CTM GateWay/CORBA R7.1 のインストール

CTM GateWay/CORBA R7.1 オプションは、CTM で管理するすべての Network Element (NE; ネットワーク要素) の情報を上位の管理システムに通知する CORBA ベースのインターフェイスです。



(注)

CTM GateWay/CORBA R7.1 のライセンスは別売りです。実稼働環境でこの機能を使用するには、ライセンスを購入する必要があります。

CTM GateWay/CORBA は、CTM サーバのインストール時にインストールできます。CTM GateWay/CORBA 単体でインストールすることもできます。この章では、CTM GateWay/CORBA を CTM R7.1 サーバのインストール後に、単体でインストールする方法について説明します。



ヒント

CTM GateWay/CORBA の設定方法を含む、CORBA のサポートの詳細については、『*Cisco Transport Manager GateWay/CORBA Release 7.1 User Guide and Programmer Manual*』を参照してください。

この章の内容は次のとおりです。

- [4.1 CTM GateWay/CORBA R7.1 のインストール \(p.4-2\)](#)
- [4.2 CTM データベースの再インストール後の CTM GateWay/CORBA の再有効化 \(p.4-4\)](#)

## 4.1 CTM GateWay/CORBA R7.1 のインストール



(注) CTM GateWay/CORBA は、CTM サーバと同じワークステーションにインストールする必要があります。CTM GateWay/CORBA のインストール中に、CTM サーバをシャットダウンする必要はありません。



(注) CTM GateWay/CORBA をインストールする前に、CTM データベースを稼働させておく必要があります。

CTM サーバ ワークステーションに root ユーザとしてログインし、C シェルで次の作業を行います。

**ステップ 1** xterm ウィンドウまたはリモート ホストを使用する場合は、次のコマンドを入力し、クライアントからの xterm 接続を有効にします。

```
/usr/openwin/bin/xhost +
```

**ステップ 2** xterm 接続の確立後に、次のコマンドを入力し、DISPLAY 変数を設定します。

```
setenv DISPLAY <hostname_or_IP_address>:0.0
```

**ステップ 3** 次のコマンドを入力して、出力画面の設定が正しいか確認します。

```
echo $DISPLAY
```

次のように端末のホスト名または IP アドレスが表示されます。

```
<hostname_or_IP_address>:0.0
```

**ステップ 4** CTM サーバのインストール CD (Disk 1) を挿入して、次のコマンドを入力します。

```
cd /
cdrom/cdrom0/Disk1/ctmsetup.sh
```

セットアッププログラムによって、ワークステーションで Sun Microsystems JRE バージョン 1.4.2\_05 が検索されます。



(注) JRE がインストールされていない場合は、セットアッププログラムにより Java インストールプログラムが起動します。プロンプトに従って、JRE をインストールします。以下のバイナリライセンスコード使用許諾契約のプロンプトで **yes** と入力します。

```
Do you agree to the above license terms?[yes or no]
```

CTM GateWay/CORBA のインストールを続行します。



(注) 必要な Solaris パッチがない場合は、これらのパッチを手作業でインストールしてください。**Cancel** をクリックし、**Quit** をクリックします。SunSolve Online (<http://sunsolve.sun.com>) からパッチをダウンロードします。パッチのインストール後に、CTM GateWay/CORBA のインストールを続行します。

インストールが開始されます。次のメッセージが表示されている間、約 60 秒待ちます。

```
Ctmsetup.sh is installing CTM server...
```

- ステップ 5** Introduction 画面で **Next** をクリックします。
- ステップ 6** License Agreement 画面で、使用許諾契約を読み、**I accept the terms of the license agreement** オプション ボタンをクリックします。**Next** をクリックします。
- ステップ 7** Installation Options 画面で、**New installation** チェックボックスにチェックマークを付け、**Next** をクリックします。
- ステップ 8** Select Products 画面の **Install Cisco Transport Manager CORBA GateWay** チェックボックスにチェックマークを付け、**Next** をクリックします。
- ステップ 9** Server IP Address 画面で、サーバをセットアップするための IP アドレスを指定して、**Next** をクリックします。
- ステップ 10** Pre-Installation Summary 画面に、インストール内容が表示されます。**Install** をクリックします。
- ステップ 11** Install Complete 画面に、インストール結果の要約が表示されます。**Done** をクリックします。
- ステップ 12** 次のコマンドを入力して、CTM サーバのインストール CD (Disk 1) を取り出します。

```
cd /  
eject cdrom
```

## 4.2 CTM データベースの再インストール後の CTM GateWay/CORBA の再有効化

CTM GateWay/CORBA をインストールしたワークステーションに CTM データベースを再インストールすると、その CTM GateWay/CORBA ノードがコントロールパネル ウィンドウで無効になります。

コントロールパネルで CTM GateWay/CORBA ノードを再度有効にするには、  
/opt/CiscoTransportManagerServer/bin ディレクトリ内の update\_config\_for\_gwcorba.sh スクリプトを実行します。